

2019年度

アドミッションズ・オフィス(AO) 入学試験要項

現代ビジネス学部

現代ビジネス学科

教育学部

教育学科

幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻

生活科学部

生活文化デザイン学科

学芸学部

日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科 音楽科



宮城学院女子大学

Contents

募集定員、選考スケジュール	01
アドミッションポリシー	02
一次選考について	04
提出課題の内容および学科別の要件等	06
二次選考について	08
音楽科専門試験要項	10

東日本大震災により被災された受験生に対する入学検定料免除措置について

【対 象】

2011年3月に発生した東日本大震災において被災した2019年度入試受験生で、以下のいずれかに該当する方

- (A) 主たる家計維持者が死亡した場合(行方不明も含む)
- (B) 申請時の住居が仮設住宅(みなし仮設住宅を含む)の場合
- (C) 申請時に主たる家計維持者が所有する自宅家屋が、福島原発事故に伴う避難指示または避難勧告により、引き続き当該家屋に居住することができず長期(3か月以上)にわたって避難している場合

【申請方法】

申請書を本学ホームページからダウンロードして必要事項を記入し、証明書を添付して、出願書類に同封して郵送してください。その際、入学検定料の振り込みは必要ありません。

【申請書類】

- 申請書(本学ホームページからダウンロード。ダウンロードできない場合は郵送しますので本学入試センターまでご連絡ください)
 - 証明書
 - (A) に該当する方: 死亡診断書またはそれに代わる証明書類
 - (B) に該当する方: 仮設住宅もしくはみなし仮設住宅に居住していることがわかる証明書類
 - (C) に該当する方: 当該区域から避難もしくは転居したことがわかる証明書類
- ※ 証明書類は、市町村など公的機関が発行したものに限り。なお、申請書類として提出の際はコピーでも可。

【申請期間】

出願期間に、出願書類に同封して郵送してください。(ただし、AO入試の場合は二次選考出願の際に申請してください) なお、出願締切日を過ぎて申請されたものについては、受理しかねますのでご注意ください。

【結果通知】

- 申請内容が認められたものについては、受験票発送後に改めて特別措置決定通知を送付します。
- 申請内容が認められないものについては別途ご連絡しますので、直ちに入学検定料を振り込んでください。入金が確認でき次第、受験票を発送いたします。

【その他】

- 一度検定料免除が認められた場合、2019年度入試の全日程に適用しますので、決定通知は大切に保管してください。決定後、新たに別日程の入試に出願する場合は、決定通知のコピーを同封してください。

募集定員

現代ビジネス学部

現代ビジネス学科(7名)

教育学部

教育学科 幼児教育専攻(7名)、児童教育専攻(5名)、健康教育専攻(5名)

生活科学部

生活文化デザイン学科(5名)

学芸学部

日本文学科(7名)、英文学科(5名)、人間文化学科(5名)、心理行動科学科(5名)、音楽科(4名)[※]

[※]音楽科は器楽コース(ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器)、声楽コース、作曲コースがあります。

選考スケジュール

	出願期間	日程	備考
一次選考	出願期間	2018年8月17日(金)～8月21日(火)必着	志願理由書／調査書／提出課題 等 入学検定料(一次選考):無料
	実施期間	2018年8月28日(火)～8月31日(金)	受験生ごとに日時が異なります。出願受付後、個別にお知らせします 試験場:本学
	結果通知	2018年9月1日(土)(予定)	本人宛に速達郵便で結果を発送します
二次選考	出願期間	2018年9月3日(月)～9月7日(金)必着	一次選考を通過した方はこの期間に二次選考の出願手続きをしてください 入学検定料(二次選考):30,000円
	選考日	2018年9月12日(水)	試験場:本学
合格発表		2018年9月20日(木)13:30(予定)	発表日当日、高等学校長および本人宛に速達郵便で結果を発送します
入学手続		2018年9月25日(火)～10月1日(月)	「入学時納付金(p12参照)」を銀行振込で一括納入してください

合格までの流れ

出願	<p>本学所定の「志願理由書」「調査書」「提出課題」「資格取得を証明する書類のコピー」「音楽科専門試験曲目届出票(音楽科受験者のみ)」等</p> <p>書類審査(審査の結果によっては一次選考の受験を認めない場合もあります)</p>
一次選考日時のお知らせ	<p>通知書は8/23(木)発送予定</p>
一次選考の実施	<p>選考方法は学科によって異なります ※詳細はp5を参照</p>
一次選考結果通知	<p>選考結果を受験生全員に通知します</p>
二次選考出願	<p>Web出願システムでの出願および入学検定料の振込等</p>
二次選考の実施	<p>選考方法は学科によって異なります ※詳細はp9を参照</p> <p>一次選考と二次選考の結果を総合的に判断して決定します</p>
結果通知	<p>最終結果を本人および高等学校長へ通知します</p>

宮城学院女子大学では、本学で勉学することを強く希望する方を対象に、アドミッションズ・オフィス(AO)入試を実施します。
 この入試では、本学および各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解し、学科が求める学生像に当てはまる方、自己表現力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力に秀でた方、高等学校でのクラブ活動やボランティア活動、その他の社会的活動に積極的に取り組み、学科での学びを活性化しうる方を求めます。
 本学のアドミッション・ポリシーと各学科が求める学生像を十分に理解した上で、出願してください。

宮城学院女子大学 アドミッション・ポリシー

本学は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

1. 本学の学修に必要な基礎学力(基礎知識、思考力、判断力、表現力)を持っている。
2. 本学の教育方針をよく理解し、学習意欲を強く持っている。
3. 地域社会や人類全体の福祉に貢献することに意欲がある。
4. 何かに打ち込んだ経験、何かをやり遂げた経験を持ち、そのことをアピールできる。

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

◆現代ビジネス学科アドミッション・ポリシー◆

1. 本学科の特質である観光、国際、地域といった実践の場で活躍したいという意欲がある。
2. ビジネス学の基礎である、経営学やマーケティング、商品流通、経済学、会計学、情報処理を学ぶ意欲がある。
3. ビジネスの場面で使用できる英語を修得し、さまざまなビジネス・シーンで活かす目的意識を持っている。
4. さまざまな社会現象や社会問題に対してビジネス学を通して考察し、具体的提案をする意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- 「観光」「国際」「地域」の〈場〉で、地域の資源を活用した企画を考える意欲を持っている方
- 自分が考えた企画を他の人が理解できるように伝えられる方

教育学部 教育学科

◆幼児教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 教育学や保育学の専門的な学びを修めるための基礎的な学力と社会の課題に向き合いその解決に寄与しようとする意欲を持っている。
2. 一人ひとりの子どもに対して丁寧に向き合い、子どもの健やかな成長・発達を支援する意欲と情熱を持っている。
3. 人を支援する専門職であることから、さまざまな場面で人と関わることに積極的である。

◆児童教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 幅広い教養と教科に関する高い専門性を修めるための基礎的な学力と教育のスペシャリストをめざそうとする目的意識を持っている。
2. 子ども的人格形成に影響を及ぼす教育という営みを探求することに強い関心を持っている。
3. 子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力を身につけようとする意欲を持っている。

◆健康教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 健康諸科学に関する専門的な知識や技能、教師としての知識や技能を学び身につけるための基礎的な学力を有している。
2. 教育という、人の成長発達を支える営み、仕事に強い関心を持っている。
3. 今日の子どもたちの抱える多様な健康課題に取り組み、子どもたちの健やかな成長と発達に寄り添っていく意欲と情熱を持っている。

<AO入試で求める学生像>

- 将来、学校教育や児童福祉の分野で地域に貢献することを目指している方
- 人にかかわることが好きで、子どもたちの心身の発達と成長に関心を持っている方
- 子どもに関する分野を専門的に学んでみたい方

生活科学部

◆生活文化デザイン学科アドミッション・ポリシー◆

1. 地歴公民、理科、数学など幅広い興味を持って勉学に励んでいる。
2. 家族・生活経済・衣食住など生活文化に対する関心と問題意識を有している。
3. 建築・インテリアなど生活環境デザインに対する関心と問題意識を有している。
4. 大学における講義内容を整理し、自身の考察を加え適切な文章で表現できる。

<AO入試で求める学生像>

- 教員、建築士、公務員、企業における生活に関わるデザイン、知識、情報、サービス等を提供する仕事を目指している方
- 生活について幅広い関心を持ち、特に女性、家族と社会、生活経済、服飾、建築、インテリアなどの分野のいずれかを深く学びたい方
- 生活を多面的にとらえ総合的に考える力、上記いずれかの分野の専門知識と、提案力＝デザイン力を身につけたい方

学芸学部

◆日本文学科アドミッション・ポリシー◆

1. **国語に関心がある。**読書を好み、文章を書くことに興味がある。適切で的確な日本語運用能力を身につける意欲がある。
2. 日本語や文学・演劇・映画等、**日本のことばと文化**に興味を持ち、これらに関する専門的で体系的な知識を修得する意欲がある。
3. 教員・司書・編集者等、**日本のことばと文化**に関する専門性を活かした職業に就き、社会の発展と文化の向上に貢献する意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- 中高国語科教員、図書館司書、日本語教員、編集者・ライターなど、日本のことばと文化に関する専門職を目指している方
- 日本語、日本文学、日本文化、あるいは日本人の思想・価値観・美意識などに強い関心があり、専門的で体系的な知識を修得したいと考えている方
- 読み、書き、話し、聞くことに関して、適切で的確な日本語力を身につけたいと考えている方

◆英文学科アドミッション・ポリシー◆

1. 英語に対する強い関心と興味を持ち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲があり、英語運用能力を高めたいと考えている。
2. 英語学や英米文学・文化を専門的に学ぶことにより、国際社会で必要とされる客観的かつ複眼的な視点を身につけたいと考えている。
3. 自分の考えを英語で発信しながら自分と異なる価値観を持つ人と積極的に交流し、日本と外国との架け橋になることをめざしている。

<AO入試で求める学生像>

- 英語圏の言語・文学・文化に対し強い探究心を持っている方
- 高度な英語運用能力を身につけ、幅広い視野をもって、社会でリーダーシップを発揮したいと考えている方
- 様々な分野で、日本と海外をつなぐ職業に就きたいと考えている方

◆人間文化学科アドミッション・ポリシー◆

1. 日本やアジア、ヨーロッパの歴史、文化、社会に関心を持っている。
2. 問題を発見し解決する能力、情報発信力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている。
3. NGOや国際機関など、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている。
4. 教員(地理歴史／公民／社会)や学芸員になりたいという目的と意欲を持っている。

<AO入試で求める学生像>

- 教員や学芸員になりたい、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている方
- 日本やアジア、ヨーロッパなど世界の歴史・文化・社会に強い探究心を持っている方
- 問題を発見して解決する能力、情報を発信する能力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている方

◆心理行動科学科アドミッション・ポリシー◆

1. 人間の心や行動に関心を持ち、それらを客観的に考える力、的確に表現する力を獲得する意欲がある。
2. 実証と実践に重点を置いて心理学を学び、自ら積極的に知識や経験を積み上げる意欲がある。
3. 高校における文科系・理科系等の選択に関わらず、専門的に心理学を学ぶことに意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- スポーツ、音楽または経済・経営活動、生徒会役員などの活動などに打ち込んだ経験あるいは一定の実績を持つ方
- 人間の心理や行動について、自分の経験を通じた興味や疑問をもつ方
- 実践を重視した学修成果を様々な企業で役に立たせたい方。また、大学院進学や心理学の専門職に就きたいと考えている方

◆音楽科アドミッション・ポリシー◆

1. 実技の練習に毎日、こつこつと取り組むことができる。
2. 音楽の実践的・理論的基礎を学ぶ根気と意欲を持っている。
3. 好きな音楽を専門的に学び、その成果を社会の中で活かす意欲を持っている。
4. 将来、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている。

<AO入試で求める学生像>

- 演奏家になろうという強い意欲を持っている方
- 中学校・高等学校の音楽の教員になろうという強い意欲を持っている方
- 音楽教室の指導者など、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている方

出願資格

次のいずれかに該当する女子で、合格の際には本学(志願学科)への入学が確実な方とします。

- ①高等学校を卒業した方および2019年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2019年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2019年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

※心理行動科学科へ出願する場合は、p6~7にある当該学科が求める要件に当てはまることを必ず確認してください。
(今年度より出願要件が変更になっています。)

一次選考について

- (1)一次選考出願期間：2018年8月17日(金)~8月21日(火)必着
- (2)入学検定料：無料
- (3)出願書類(所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。)

書類	注意事項
①志願理由書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判で印刷して、必ず本人が 自筆(黒のボールペン) で記入してください。
②写真 (縦4cm×横3cm 1枚)	白黒・カラーとも可。出願日前3ヶ月以内に撮影し、正面を向いて上半身無帽のもの。写真裏面に高校名と氏名を記入し、志願理由書に貼付してください。選考の際に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影してください。
③資格取得を証明する書類のコピー	英語検定、TOEIC、TOEFL、GTECスコア、漢字検定、日本語文章能力検定、簿記検定など、資格等を取得し、そのことを志願理由書に記入した場合は、その資格を証明できるものをA4判の用紙にコピーして提出してください。
④調査書または出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none">●高等学校卒業生(見込み者)および高等専門学校第3学年修了生(見込み者)の場合は「調査書」。(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封したもの)●大学入学資格検定合格者の場合は、「合格成績証明書」。●高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績が記載された「合格見込成績証明書」。●外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。
⑤提出課題 (現代ビジネス学科、英文学科、音楽科を除く)	課題の内容はp6~7を参照してください。課題提出用所定様式は、本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判で印刷してください。 ダウンロードできない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。
⑥音楽科専門試験にかかわる書類 (音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学ホームページから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付して提出してください。 また、声楽コースを志願する場合は、曲全体の楽譜のコピーのほかに、伴奏用楽譜を提出してください(詳細はp11参照)。 作曲コースの提出課題については、p10を参照してください。

提出物は、市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に「AO入試一次選考出願書類在中」と朱書きし、必ず簡易書留で提出してください。
事情により調査書等が提出できない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。

(4)一次選考日：2018年8月28日(火)～8月31日(金)

受験生ごとに選考日時が異なります。ただし、論述試験を課す学科については8月28日(火)に実施します。詳しい日時については、一次選考日通知書(8月23日(木)発送予定)にてお知らせします。8月25日(土)までに通知等が届かない場合は、本学入試センターまでお問い合わせください。

なお、一次選考のために高等学校での授業を欠席しなければならない場合は、その旨を学校に連絡し、許可を受けてから受験してください。

(5)選考方法

学科	一次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●論述試験 ●グループ面接(論述試験に関する質疑応答を含む) 	論述試験 60分 グループ面接 20分
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション(注1) 	選考は一人20～30分程度
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(注2) 	
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(古文の音読を含む)(注2) 	
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●英文を読み、日本語および英語による論述試験(注3) ●面接(英会話および英文の音読を含む) 	論述試験 60分 面接 15分程度
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(注2) 	選考は一人20～30分程度
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション(注1) 	
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●音楽科専門試験(p10参照) ●面接 	

(注1)教育学科(各専攻)と心理行動科学科は、提出課題(自己推薦書)に基づくプレゼンテーションと質疑応答を行います。A3判1枚の「プレゼンテーション用資料」を作成し、原本と原本の写し3部の計4部を必ず持参し、提出してください。選考の際は、原本をボードに掲示してそれを参照しながらプレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーションの時間は10分間とします(10分を経過した場合は途中であっても打ち切ります)。続いて、主としてプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を10分程度行います。

(注2)生活文化デザイン学科、日本文学科、人間文化学科の面接は、提出した課題に関する質疑応答を含むため、説明用の資料や作品等の持ち込みを認めます。

(注3)英和辞典使用可。ただし、電子辞書等は使用不可。

【評価方法】

一次選考は、志願理由書および提出された課題や選考内容を総合的に評価し、調査書は参考程度に扱います。

(6)一次選考結果通知：2018年9月1日(土)(発送予定)

一次選考の結果は受験生全員に郵送で通知します。

提出課題の内容および学科別の要件等

出願に必要な提出課題のテーマおよび要件等は以下のとおりです。

各学科とも提出課題は本学のホームページからダウンロードした所定様式を用い、注意事項をよく読んで作成してください。また、資料として用いた本や雑誌・新聞、ウェブサイト等がある場合は必ず出典を出典記入欄に明記してください。

学 科	課題・要件等
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	次の2つの点を踏まえ自己推薦書を作成しなさい。表現の方法は自由です。ただし、立体物を貼り付けることや指定の様式の大きさを変えることはできません。 ①これまで、あなたが影響を受けた先生をあげ、その方々からどういう影響を受けたか。 ②本学科入学後に、どのようなことについて学びを深めていきたいと考えているか。(その理由を含めること)
生活文化デザイン学科	①家族、流通と消費、衣食住などの生活の問題 ②生活と地球環境、文化、社会との関わりについての問題 ③建築・インテリアなど生活の中のデザインに関する問題 上記の中からいずれかを選択し、あなたが関心を持つ事柄についてテーマを設定して具体的に論述し、それに対するあなた自身の考察、あるいは提案を示しなさい。(1,600字以内)
日本文学科	日本語・日本文学あるいは日本文化に関する本で、あなたが感銘を受けたものを1冊選び、その内容を要約し、かつ、その本のどのようなところに感銘を受けたのか、自分の言葉で書きなさい。(1,200字以内)
人間文化学科	次にあげたテーマの中から1つを選んで、それについて具体的に調べ、考えたことを述べなさい。(1,600字以内) ①「歴史を学んで何の役に立つの?」と問われたらあなたならどのように答えますか? また、学校で歴史を学ぶ意味は何だと思えますか? ②互いに異なる言語・習慣・価値観を持った人々が共に暮らす場合、どのような問題が生じると思えますか?あなた自身の体験を交え、解決策あるいは防止策とあわせて具体的に説明しなさい。
心理行動科学科	本学科のAO入試は、以下の(A)経験・実績と(B)意欲の両方を満たす方が応募できます。 (A)高校3年間において、心理学の学びにつながる諸活動(スポーツ、音楽、経済・経営、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイト、その他)に継続的に活動していた方 (B)Aの活動を通して、人間の心理や行動について興味や疑問を持ったことで、それらを大学で心理学の観点から学びたい方 【対象となる活動の具体的なイメージ】 ■スポーツ活動の経験・実績に基づくイメージ ・高校ではチームスポーツの運動部に所属し、レギュラーとして活躍した。チームをチームとして機能させる重要性を強く感じたので、集団の協調に興味がある。 ・大学では新しいスポーツを行いたい。高校で行った競技を続ける人と辞めた人の違いをいろいろな視点で比較してみたい。 ・高校の運動部でマネジャーとして、選手の活動を支えてきた。マネジャーの役割について、心理的な側面から調べてみたい。 ・プレイヤーとしての実績はないが、好きなチームのホームゲームは全試合観戦した。応援と選手のパフォーマンスとの間には関係があると感じて分析したが、大学ではより専門的に研究したい。 ■音楽活動の経験・実績に基づくイメージ ・コンピュータの音楽に興味があり、仲間と作品を作っている。面白いリズムとつまらないリズムの違いに興味がある。 ・友達とダンスを踊っているが、息が合うということと音楽の関係について面白いと感じている。息が合う人と合わない人の違いはどこにあるのかなど、心理学的に研究してみたい。 ・中学のころからバンドでボーカルを担当している。ボーカルには“ノリのよさ”が重要だと言われたことがあり自分もそう思うが、そもそも“ノリのよさ”とはどのような心理なのかを知りたい。 ・中学高校と吹奏楽を続けてきたが、コンクールなどのステージであがってしまう経験をした。あがらないようにするにはどうすればよいのか調べてみたい。

心理行動科学科

■経済・経営活動の経験・実績に基づくイメージ

- 親戚が経営しているお店のホームページを作ったが、効果があるのかわからない。どうしたら効果の有無がわかり、どうしたら効果を上げられるのか勉強したい。
- 友人たちとフリーマーケットに出店をしてきた。何度も出店するうちに、売り上げのコツがわかってきた気がするが、それを心理学的に研究して検証してみたい。
- 高校の文化祭で実行委員を務めたが、来場者数や模擬店の売り上げと天候に関係があるように感じた。このような現象を統計的に分析する手法を学びたい。
- 通学路のハザードマップ作成に参加し、危険性に気づく難しさや、それらを周知するために工夫することの必要性を感じた。専門的に学ぶことで地域に貢献したい。

■生徒会等の役員の経験・実績に基づくイメージ

- 生徒会の役員で忙しかったことで、時間の使い方がうまくなったと言われる。忙しいときと暇なときとで人間の心理がどう変わるのか、それが行動に与える影響について勉強したい。
- 文化祭の役員を務め、プログラムのために広告取りをした。業種によって快く引き受けてくれるところと、そうでないところがある様な気がする。業種と広告の意識は関係があるのか、学びたい。
- 部活の会計担当を経験して、合宿などの多額なお金の管理を手伝っていた。大きなお金を扱うと、普段は大事に感じる数百円の価値が変わってしまう。お金の心理学について学びたい。
- 生徒会長を経験して、特に難しい問題についてリーダーシップを取ることに難しさを感じて、リーダーとは何かととても考えさせられた。良いリーダーシップとは何か、研究したい。

■ボランティアの経験・実績に基づくイメージ

- 発達障害の子どもと関わるボランティア活動を週1回程度、1年間続けてきた。その経験の中で、子どものためにも支援者の心理的サポートが重要だと感じたので、そういう勉強をしてみたい。
- 町内会の夏祭りに子どもの頃から関わっていて、近年は会場の警備を担当している。多くの人が集まる場所で安全にイベントを行う難しさを感じたので、人間の行動を学びたい。
- 読み聞かせのボランティア活動をしている母とともに活動をしてきた。同じ絵本でも読み手によってまったく違う作品になることを感じ、何がその背景にあるのか研究してみたい。
- 地域清掃のボランティア活動に関わるようになった。これまでの活動で、ゴミが集まる場所には特徴があるように感じるが、それをきちんと分析して、ゴミのない社会を実現させたい。

■アルバイトの経験・実績に基づくイメージ

- 飲食店のアルバイト経験から、時間帯によってお客様の態度が違うように感じる。そのことについて心理学を学ぶことで科学的に解明してみたい。
- コンビニのアルバイト経験から、陳列する場所によって売れない商品が急に売れ始めたりすることを知った。場所だけで売上が変わってしまう人間の心理について学びたい。
- イベントスタッフのアルバイト経験から、群集の心理に興味を持った。ちょっとしたことで事故に繋がりがかねない危険性があり、群集心理を安全に誘導する方法を研究したい。
- クレーマーと呼ばれるようなお客様へ対応すると、店舗スタッフ側の感情のコントロールがとても難しいことを感じる。感情について心理学的に学んで、スタッフ教育などに役立てたい。

■その他の経験・実績に基づくイメージ

- 多くのテレビ番組のクイズ大会に参加した。本を読んだりして新たな知識を記憶する難しさも、本番で思い出す難しさも実感させられた。記憶の心理学について学んでみたい。
- カルタ部で活動したが、分かっているつもりでも身体が動かないことがある。頭が動け！と命令するのに身体が動かないのはなぜか。どうしたら動くようになるのか。心理学的に学びたい。
- 書道部で活動する中で、字には書き手の性格が現れると感じた。手書き文字と性格の関係について心理学で研究がされていると知り、深く学んでみたくなった。
- その他、高校3年間において心理学の学びにつながる諸活動のうち、上で示したスポーツ、音楽、経済・経営、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイトに該当しない活動。

現代ビジネス学科の一次選考論述試験について

学 科	内 容
現代ビジネス学科	①日本に訪れる外国人観光客の動向を解説した新聞・雑誌・一般書籍・白書などの文章 ②東北地方を取り扱った一般的な旅行案内書 上記2点を受験生に提示し、それらの資料をもとに論述試験を行う。

二次選考について

二次選考はWeb出願システムを利用して出願してください。

登録期間内に本学ホームページからWeb出願システムにアクセスし、マイページを作成の上、必要事項を入力して志願票などを出力してください。

(1) 二次選考出願期間：2018年9月3日(月)～9月7日(金)必着
(Web出願システムでの登録は9月2日(日)～9月6日(木)17:00まで)

(2) 入学検定料：30,000円
Web出願システム上で、コンビニエンスストアでの払い込みまたはクレジットカード決済等が利用できます。

(3) 出願書類
いずれもWeb出願システムから出力してください。

書類	注意事項
入学志願票(A票)	・出力した内容に訂正がある場合は、二重線を引いて訂正してください。
入学志願票(B票)	・指定枠内に4cm×3cmの証明写真を貼付してください。(条件は一次選考と同じです) ・コンビニエンスストアで検定料を納入した場合は、「収納証明書」を指定枠内に貼付してください。
宛名ラベル	・出力した宛名ラベルを市販の角2サイズの封筒に貼り、入学志願票(A・B票)を入れて必ず 簡易書留 で郵送してください。

※Web出願システムでの登録と書類の郵送をもって出願完了となります。

(4) 受験票について
願書受付後、二次選考受験票を発送します。9月10日(月)までに届かない場合は、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。

(5) 選考日：2018年9月12日(水)
時間等の詳細については、受験票に同封する「受験案内」で確認してください。

(6)選考方法

学科	二次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考の論述試験とグループ面接で取り上げたテーマについてのプレゼンテーション(注4)と質疑応答および面接 	選考は一人20～30分程度 ※プレゼンの時間は10～15分程度
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> 小論文(600字程度) 面接 	小論文60分 面接20～30分程度
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> 講義を聴講し、所定形式のノートを提出(注5) 	全体で60分程度
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> 講義(注6)を聴講後、論述試験 面接(古文の音読を含む) 	講義・試験 90分 面接20～30分程度
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> 面接(英会話を含む) 	面接15～20分程度
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考時に提出した課題についてのプレゼンテーションと質疑応答および面接(注7) 	選考は一人20～30分程度 ※プレゼンの時間は10～15分程度
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考の内容に基づいた新たな課題についての質疑応答(注8) 	選考は一人20～30分程度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> 音楽科専門試験(p11参照) 面接 	

(注4)現代ビジネス学科のプレゼンテーションは、パソコンまたはポスター(四六判の模造紙・枚数は自由)を用いて行ってください。なお、パソコンを使用する場合は、持参してください。(プロジェクター、スクリーンは本学で準備します)

(注5)生活文化デザイン学科の「ノート」の形式は、本学ホームページ上に掲載しています。

(注6)日本文学科の講義テーマは、一次選考日通知書に同封してお知らせします。

(注7)人間文化学科のプレゼンテーションの方法は問いませんが、発表内容をA4用紙2枚程度にまとめたレジュメを4部持参してください。なお、パソコンを使用する場合は、持参してください。(プロジェクター、スクリーンは本学で準備します)

(注8)心理行動科学科の課題は、一次選考結果通知書に同封してお知らせします。

【評価方法】

最終的な合否については、一次選考・二次選考の結果を総合的に判断して決定します。

(7)合格発表：選考方法2018年9月20日(木)13:30(予定)

発表日当日、本人および高等学校長宛てに速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

合否については、インターネットを利用した「合否発表システム」を利用して確認することもできます。

(利用方法は、受験票発送時に通知します)

(8)入学手続期間：2018年9月25日(火)～10月1日(月)

上記の期間内に「入学時納付金(p12参照)」を銀行窓口で一括納入してください。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

入学手続の詳細については、「選考結果通知書」とともに送付する「入学手続要項」をご確認ください。

音楽科専門試験要項

一次選考・二次選考ともピアノ・オルガン専攻を志願する場合は「専攻実技」を、それ以外の専攻を志願する場合は「専攻実技」と「副科ピアノ」の両方を受験すること。

■一次選考

専攻実技	器楽コース	ピアノ専攻	J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenの任意のソナタより第1楽章または終楽章、あるいはロマン派以降の自由曲から1曲を選択し、演奏すること。 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。
		オルガン専攻	(A) (B)いずれかを選択し、受験すること。 (A)パイプオルガンで受験する場合 自由曲:1曲 暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。 (B)ピアノで受験する場合 J. S. Bach:平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。
		弦楽器専攻 ヴァイオリン・ヴィオラ チェロ コントラバス	自由曲:1曲 暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。
		管楽器専攻 フルート オーボエ クラリネット サクソフーン ファゴット ホルン トランペット トロンボーン ユーフォニアム チューバ	自由曲:1曲 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。
		打楽器専攻	(A) (B)いずれかを選択し、受験すること。 (A) マリンバのみで受験する場合 自由曲:1曲 暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。 (B) マリンバとそれ以外の楽器を用いて受験する場合 以下の(a) (b) (c)を演奏すること。 (a) マリンバ 調号♯ ♭ 共に2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。 2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。 (b) 打楽器1つを用いた音楽表現 暗譜の必要はない。内容、使用楽器は自由だが、演奏時間は3分以内とする。教則本等からの抜粋でもよいが、そうでない場合も[例]7つ打ちなどのように課題内容が明確であれば可とする(課題は複数でもよい)。 (c) 小太鼓 1つ打ち・2つ打ち・ロール <i>pp</i> < < <i>ff</i> > > <i>pp</i>
	声乐コース	自由曲:1曲 暗譜のうえ、原語で歌うこと。	
作曲コース	出願時に、楽譜に書かれた自作の曲を課題として提出する。演奏時間は1分以上とし、編成は自由とする。提出された曲についての口頭試問を行う。		
副科ピアノ	器楽コース 声乐コース	以下の作曲家によるソナチネ、またはソナタの中から1曲を選択し、第1楽章を演奏すること。 L. v. Beethoven, M. Clementi, A. Diabelli, J. L. Dussek, J. Haydn, F. Kuhlau, W. A. Mozart 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。	
	作曲コース	以下より1曲を選択し、演奏すること。 ●J. S. Bach:2声のインヴェンション ●J. S. Bach:シンフォニア(3声のインヴェンション) ●J. S. Bach:平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻よりフーガのみ ●J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenのソナタより任意の楽章 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。	

■二次選考

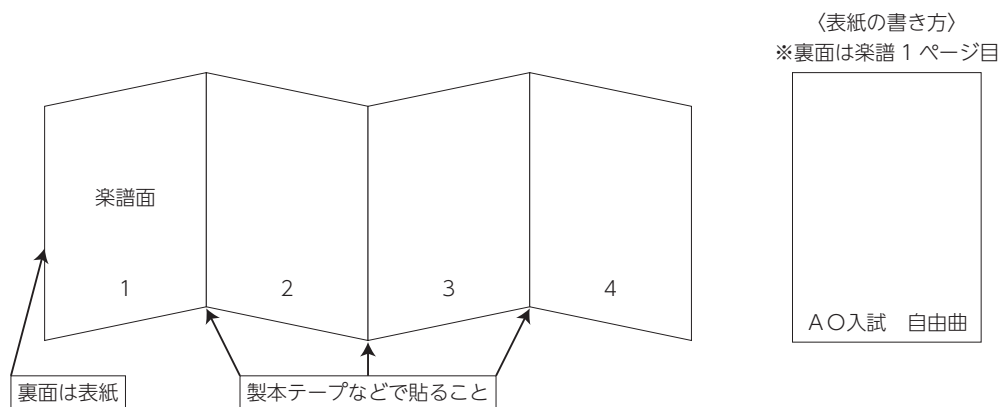
専攻実技	器楽コース 声楽コース	一次選考の「専攻実技」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。
	作曲コース	一次選考の口頭試問において指摘された点を修正した自作の曲の楽譜を、二次選考出願書類に同封して提出すること。
副科ピアノ	器楽コース 声楽コース 作曲コース	一次選考の「副科ピアノ」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。

楽譜の提出について

- 出願時に曲目届出票と演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること。印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。
なお、打楽器専攻を(B)で受験する場合は、(b)の課題の楽譜のコピーを添付すること。
- 声楽コースを志願する場合は、曲全体の楽譜のコピーのほかに、伴奏用楽譜を添付すること。
(以下の方法にしたがって製本すること。)
- 作曲コースを志願する場合は、提出課題として、楽譜に書かれた自作の曲を提出すること。五線紙は市販のものを使用し、鮮明なコピーを製本して提出すること。原本は控えとして必ず保管しておくこと。

【声楽コースの伴奏用楽譜について】

- ①楽譜は1ページのサイズをA4版とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
- ②伴奏者が演奏しやすいよう、下記の図のように製本すること。
- ③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「AO入試 自由曲」と記入すること。



試験当日の使用楽器について

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(ヴァイオリン・ヴィオラ)の「ヴィオラ」を受験する場合、ヴァイオリンでの受験も可とする。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻(サクソフォーン)を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 管楽器専攻(トロンボーン)を受験する場合、テナートロンボーンまたはバストロンボーンでの受験を可とする。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリimbaを使用すること。
- 打楽器専攻を(B)マリimbaとそれ以外の楽器を用いて受験する場合、本学の小太鼓とティンパニを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。それ以外の楽器を使用する場合は、当日各自で持参すること。

出願書類について

一次選考のための出願書類(本学所定様式)は全て本学ホームページ(<http://www.mgu.ac.jp/main/entrance/ao/index.html>)からダウンロードできます。

ダウンロードができない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。

【ダウンロードできる出願書類】

- 志願理由書(全学科共通)
- 提出課題様式
- 音楽科専門試験曲目届出票

AO入試合格者に対する入学前学習課題について

本学では、AO入試合格者に対して、大学入学後の学習にスムーズに適応していただけるよう、入学前の準備教育として学習課題を課します。詳細は合格発表後に通知しますので、指定の期日までに取り組んでください。

「早期合格者の集い」開催について

本学では、AO入試合格者および推薦入試合格者を対象に、「早期合格者の集い」を開催します。日程等の詳細は合格発表後に別途通知しますので、ぜひご参加ください。

その他

出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格を取り消します。

納付金

2019年度納付金に関しては「入学手続要項」に掲載いたします。

なお、2018年度の納付金は以下のとおりです。参考としてご覧ください。

【参考】2018年度納付金明細表

(単位:円)

科 目	現代ビジネス学部	教育学部	生活科学部		学芸学部					
	現代ビジネス学科	教育学科	食品栄養学科	生活文化 デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科	
入学時納付金	入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000	12,000	10,000	12,000	12,000	30,000	7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	グループ研修費	12,000	3,000	2,300	1,500	2,000	3,500	12,000	10,800	1,300
	循環器等検査料	4,000	10,700	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学会費	1,500	1,500	1,200	1,500	3,000	2,500	2,000	4,000	1,300
	学生災害掛金	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
計	757,800	772,000	814,370	799,300	718,800	721,800	729,800	774,100	1,160,900	
後期納付金	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000			12,000			7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
計	493,500	510,000	560,000	533,500	453,000	465,000	453,000	478,500	817,500	
年額合計(一般)	1,251,300	1,282,000	1,374,370	1,332,800	1,171,800	1,186,800	1,182,800	1,252,600	1,978,400	

受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病等があり、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず本学入試センターにご相談の上、下記の通り申請してください。
ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	AO入試一次選考出願開始日の1ヶ月前まで
申請方法	下記の書類を本学入試センターまでお送りください。 ・特別配慮願（本学所定/ホームページからダウンロードできます） ・障がい・疾病の状況がわかるものの写し（医師の診断書など） ・高等学校の所見（高等学校在籍者のみ）
問い合わせ先	宮城学院女子大学 教育研究支援グループ 入試センター（022-279-5837）

なお、出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の特別な配慮が生じた場合は、あらかじめ本学入試センターに連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。
申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合も、あらかじめご相談ください。

注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず本学入試センターまでご連絡ください。

受験生ならびに保護者の皆様へ（個人情報保護について）

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験や入学後の学籍管理等教育運営に使用します。
なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

願書送付・問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

教育研究支援グループ入試センター

<http://www.mgu.ac.jp/>
E-mail:nyushi@mgu.ac.jp
TEL.022(279)5837
FAX.022(279)5978

2018年6月